上方向を正、下方向を負とする。

(1)

最高点に到達したとき、速度は $0^{m}/_{s}$ になるので、

$$v_t = at + v_0$$
 より、
 $v_t = 0^m/_S$, $a = -9.8^m/_{S^2}$, $v_0 = 19.6^m/_S$ を代入して、
 $0 = -9.8 \cdot t + 19.6$
 $\therefore t = 2s$

(2)

$$y=\frac{1}{2}gt^2+v_0t$$
 より、 (等加速度運動の式) $g=-9.8\,{}^m/_{S^2}$, $t=2s$, $v_0=19.6\,{}^m/_{S}$ を代入して、 $y=\frac{1}{2}\cdot(-9.8)\cdot 2^2+19.6\cdot 2$ = 19.6 m

(3)

3秒後の速さは、

$$v_t = at + v_0$$
 より、 $a = -9.8 \, m/_{S^2}$, $t = 3s$, $v_0 = 19.6 \, m/_{S}$ を代入して、 $v_3 = -9.8 \cdot 3 + 19.6$ $= -9.8 \, m/_{S}$ よって下向きに $9.8 \, m/_{S}$ また、位置は $y = \frac{1}{2} gt^2 + v_0 t$ より、 (等加速度運動の式) $g = -9.8 \, m/_{S^2}$, $t = 3s$, $v_0 = 19.6 \, m/_{S}$

$$y = \frac{1}{2} \cdot (-9.8) \cdot 3^2 + 19.6 \cdot 3$$
$$= 14.7m$$

(4)

を代入して、

$$y=\frac{1}{2}gt^2+v_0t$$
 より、 (等加速度運動の式) $y=4.9m$, $g=-9.8\frac{m}{s^2}$, $v_0=19.6\frac{m}{s}$ を代入して、

$$4.9 = \frac{1}{2} \cdot (-9.8) \cdot t^2 + 19.6 \cdot t$$

$$\therefore t = 3.73s , 0.268s \qquad \cdots \text{1}$$

(5)

$$y = \frac{1}{2}gt^2 + v_0t$$
 より、 (等加速度運動の式) $y = 0m$, $g = -9.8 \, m/_{S^2}$, $v_0 = 19.6 \, m/_{S}$ を代入して、 $0 = \frac{1}{2} \cdot (-9.8) \cdot t^2 + 19.6 \cdot t$ $t \neq 0$ より、 $\therefore t = 4s$ …②

(6)

①,②式より、

4.9mのところまで上昇する時間は0.268s

4.9mのところから地面へ着くまでの時間は4-3.73=0.27s よって、等しいといえる。